

真摯に文字に向かう姿

充実の資料で多角的に横浜で開催の夏目漱石展



〔共同〕夏目漱石没後100年を記念し、横浜市の神奈川近代文学館で開かれている特別展「100年に出会う 夏目漱石」(5月22日まで)は、同館の充実した漱石コレクションを駆使し「人間漱石」を多角的に照らし出す。展覧会前に発見された「道草」の自筆原稿に記された推敲跡や弟子たちへの手紙からは、苦悩や孤独の中にありながら真摯に文学に向かう作家の姿が浮かび上がる。

会場に入つてすぐ目に飛び込んできたのは、漱石が最後に暮らした家、東京・早稲田南町の「漱石山房」の書齋の再現だ。紫檀の文机や螺鈿黒文箱、ベルシャじゅうた

い。

△復籍

漱石は1867年、江戸牛込馬場下横町(現在の東京都新宿区喜久井町)に夏目直克・千枝夫に帰る。復籍し、夏目姓

い。

△妻夫婦

妻夫婦の五男として生ま

れた。1歳で塙原昌之助、やす夫妻の養子に出

されるが、夫妻が離婚し

ため、9歳のとき塙原

家に籍を残してしま

う。生家

に籍を残してしま

ニッケイ俳壇

(888)

星野 瞳 選
新津 稲鷗

屠蘇を酌む我百才をブラジルに
野の雨降りそびれたる残暑かな
宙を飛び逃げる蛇追ひアヌン二羽
草青牧場に光る沼一つ
こぼれ種子まで生える薺麦の花盛り

○百才を迎えたこの作者はまだ元気一杯
だ。のもしい限りである。

開拓の孫が市長や風香る
ベイラ・バレット 保田 渡南

山焼きし種蒔しこ大切に
地平まで大豆の起雲峯の峯

麻酔われぐとメス入る冷やかに
人がみな併せに見え秋を病む

新涼や九十六才誕生日

カーボストジヨルトン 鈴木 静林

秋晴の空にほいほい瓦投げ
秋晴や十五で棟梁鶴舎建て

車止めいつまで見飽きぬ花マナカ

新涼や九十六才誕生日

ソロカバ 前田 昌弘

憧れの上級生や藤袴
秋風のそぞろ身に入む議員かな

新涼や九十六才誕生日

カーボストジヨルトン 鈴木 静林

秋晴の空にほいほい瓦投げ
秋晴や十五で棟梁鶴舎建て

車止めいつまで見飽きぬ花マナカ

新涼や九十六才誕生日

ソロカバ 前田 昌弘

憧れの上級生や藤袴
秋風のそぞろ身に入む議員かな

新涼や九十六才誕生日

カーボストジヨルトン 鈴木 静林

秋晴の空にほいほい瓦投げ
秋晴や十五で棟梁鶴舎建て

車止めいつまで見飽きぬ花マナカ

新涼や九十六才誕生日

ソロカバ 前田 昌弘

憧れの上級生や藤袴
秋風のそぞろ身に入む議員かな

新涼や九十六才誕生日

カーボストジヨルトン 鈴木 静林

秋晴の空にほいほい瓦投げ
秋晴や十五で棟梁鶴舎建て

車止めいつまで見飽きぬ花マナカ

新涼や九十六才誕生日

ソロカバ 前田 昌弘

憧れの上級生や藤袴
秋風のそぞろ身に入む議員かな

新涼や九十六才誕生日

カーボストジヨルトン 鈴木 静林

秋晴の空にほいほい瓦投げ
秋晴や十五で棟梁鶴舎建て

車止めいつまで見飽きぬ花マナカ

新涼や九十六才誕生日

ソロカバ 前田 昌弘

憧れの上級生や藤袴
秋風のそぞろ身に入む議員かな

新涼や九十六才誕生日

ソロカバ 前田 昌弘

憧れの上級生や藤袴
秋風のそぞろ身に入む議員かな

新涼や九十六才誕生日

前田 昌弘

憧れの上級生や藤袴
秋風のそぞろ身に入む議員かな

前田 昌弘

